| 大項目 | 方向性 | 系者評価の結果の概要と改善策 取組内容 | 取組指標 | 取相 | 日標に対する成果が | 福 4: | 授某 評価 | これまでの取締 今後の改善策 | 174 | 人数 | 学校関係者記入欄コルト |
|--|--|--|---|--------------|--|--|----------|-------------------|-----|----|-------------|
| 生きる力を育成します予測困難な未来社会を個別目標1 | 社館を存在した。 をおいます。 社館を表した。 をおいます。 は会して、 をおいます。 は会して、 をおいます。 は会して、 をおいます。 は会して、 をおいます。 は会して、 をおいます。 はいまする。 はいまる。 はいな。 はいな。 はいな。 はいまる。 はいまる。 はいな。 はいな。 はいな。 はいな。 はいな。 はいな。 はいな | ①STFAM教育第の教科第陽新的な型パ | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し | | | 90% | | | | | |
| | | ①STEAM教育等の教科等機断的な学び や科学教育を接達し、課題解決力や動た な価値を創造する力の育成を図っている。 | た。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 | FL ST | | 3. | | | A | | |
| | | | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。 | | <児童> | | | | | | - |
| | | ②学校内外での様々な体験活動や自己 評価する習慣づくりを推進し、自ら考え利 動するか、他者と協働していく力の育成 を図っている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し、 | | 授業中、自分の 考えをすすんで 発表したり、友達 | 85% U.E. | | | | | |
| 創造 | | | *** 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | く児童> 授業中、自分の 考えをすすんで 考表したり、友達 と話し合ったりし て問題を解決し ている。 | | | | В | | |
| 的に | | 3情報技術を適切に活用した授業の実施 を適して、情報活用能力の育成を図ってい も。 | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。 | | <保護者> | 2: | | | L | | - |
| | | | 4:「おおむねできた」と金数員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し、 | | 子校議的で設計 し、子供たちの情報活用能力の育成に取り組んで いる。 | 80% | | | | | |
| | | | 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | | | | С | | |
| | | | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。 4:「おおむねできた」と回答した教員が回答! た. | | | 1: | | | | | - |
| | | (4枝内研究で生活料、社会料を中心に、 問題解決的な学習の充実を目指すために 研究検案に取り組んでいる。 | 4:「おおむねできた」と全教員が図答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と図答し | | | 80% 未滿 | | | D | | |
| お世個 | | | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 | Н | | 4: | | | ٠ | | |
| おたを担う人材を育成します界とつながる国際都市別目標2 | 英語での実みであった。 なコミュニケカー かったといったがある。 あるととはこの性からいでは、 が観文を化していくすった。 は他の力にないます。 からないでは、 なもか、 は他のでは、 なもか、 は他のでは、 なもか、 は他のでは、 なもか、 は他のでは、 なもか、 は他のでは、 なもか、 は他のでは、 なもか、 は他のでは、 なもか、 は他のでは、 なもか、 は他のでは、 なもか、 は他のでは、 なもか、 は他のでは、 なもか、 はいでは、 なすない、 なった。 ないは、 ないでは、 なった。 ないは、 ないでは、 なった。 ないは、 ないでは、 ないななななななななななななななななななななななななななななななななななな | ①外国語教育指導員の活用などにより、 英語に関れ戦しみながら金話をする機会 を増やし、英語かかロニュワークシン能力 の向上、豊かな国際感覚の育成を図って いる。 | 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | 弘上 | | | ı, | | |
| | | | 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と図答した。 | <児童> 从開師事動心業 | | | | | ľ | | |
| | | | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 | | 3: 85% | | | H | | - | |
| | | ②牧が国や郷土の伝統や文化の学習、人 権教育を推進し、自分とは異なる文化や 価値観を行う相手を理解し、互いに尊重し 合う心の育成を励っている。 | 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | く児童> 外国語活動や英語の英語で関心 で、英語に関心 をもち、吹しく取り 組んでは、 | 85% 1;1_E | | | В | | |
| | | | 2:60%以上30%未満が「おおむねできた」と図答した。 | 1 | をもち、乗しく取り 組んでいる。 <教員> | | | | ľ | | |
| | | | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 | H | るが、 く教もたちが地域分 とされずいにし、自分 たちのまちをうより よいのまりをしていう自分 関っている。 | 2: | | | H | | - |
| | | ②現代社会における地球規模の課題を自分率として投え、その解決に向けて考え、 行動する力の育成を図っている。 | 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | 80% | | | c | | |
| | | | 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | 1: | | | ľ | | |
| | | | 1:「おおむねできた」と回答した教員が40%未満で あった。 | | | | | | H | | - |
| | 児童・生性が整 かな人生を主き でなったして、必要な でなったして、必要な であったして、かなり、できないなり、できないなり、できないない。 学力、育成、児児は、児よの できない。 とっと。 できない。 とっと。 できない。 とっと。 できない。 でもな。 と。 できない。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 | ①道徳料を中心としたを教料等での学習 などで通じて解練的に道徳教育を実施し、 豊かな情報や道徳心の育成を図ってい る。 | | | | 80% 未満 | | | D | | |
| た一個 | | | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 | Ħ | | 4: 90% U.E. | H | | t | | |
| のひ目 基と標 | | | 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し | | | | | | 1 | | |
| 礎り3 とが な個 る性 | | | 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で 5-7・7・7・7・7・7・7・7・7・7・7・7・7・7・7・7・7・7・7・ | ı | | | | | Â | | |
| | | | あった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 | Ħ | | | | | | L | |
| カと を能 | | ②学習習熟度に応じた指導や側に応じた 学習支援、各種検定の実施を通して、す べてのこともに確かな学力の育成を図って いる。 | 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | <19.8h | 3: 85% U.E | | | | | |
| 育力成を | | | 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 た。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で | | く児童は、 ・ 図分 ターター ターター ターター ターター ターター ターター ターター タ | | | | в | | |
| し発 ま揮 すす | | | あった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 | H | | | | | | | |
| 99 | | ③体育や保健体育の授業など様々な機会 を選いて、健康教育や食育性推進し、基本 助な生活質機の確立を聞っている。 年刊の表示を関係している。 (単純)の構立を関っている。 (単純)の関係が中学校まで円滑な接続を 行がため、健幼小の連携やか中一貫の複 点に立った機を行うている。 | 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | 2. | | | | | _ |
| | | | 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で | | | 80% 131.E | | | | | |
| | | | あった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 | | | | | | с | | |
| | | | 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | | | | | | |
| | | 点に立った教育を行っている。 | 2:60%以上80%来選が「おおむねできた」と回答した。 た。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未選で | | _ | 1: | | | F | | - |
| | | ⑤体カテストの結果を踏まえ、体カ向上全 | あった。 4:「おおむねできた」と全数目が回答した。 3:80%以上100%未満か!おおむねできた」と回答し | H | | 1:80% 未満 | | | D | | |
| 学個 | | ⑤体力テストの結果を踏まえ、体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や一校一取組運動を実践している。 | 2:60%以上の95米高か!おおむねできた」と回答し 1:1おおむねできた」と回答した原見か905米高で | Ш | | 4. | | | Ł | | |
| 校別力目 | 校内のJTの表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表 | ①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し | | | 90% | | | | | |
| ・標 教 4 | | ①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出 す舗別最適な学びと協働的な学びの一体 的な充実の視点による授業改善を行って いる。 | た。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | | | | A | | |
| 力 | | | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。 | | <保護者> | 3: | | | | | - |
| を 向 上 | | (2)教職員がそれぞれの専門性を生かした | 4:「おおむねできた」と金数員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し | | く保護者> 学校学のため に授助・ がようしのため に授助・ がかりついる。 を を がいいる。 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を | 85% SJ.E | | | | | |
| ± t | | ②数据最がそれでれの専門性を生かしたり、地域の特色を注かしたりして教育活動 を行っている。 こ数据員の実践適立化等に取り組み、児童・生徒に使員が何日を合う物質を指する 等、ウェルビールグを高める数据を行っている。 | へ。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | に授業改善に取り組み、分かりや すい授業を行っ | | | | В | | |
| * | | | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。 | Ш | 察では自己評価 業をもとに協議 | 2: 80% 以上 | | | L | | = |
| _ | | | 4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と 回答した。 | | | | | | ı | | |
| | | | 回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね英まっている」と 回答した。 | 4 | 善に努めている。 | | | | С | | |
| | | | 1:「おおむね高まっている」と図答した教員が60% 未満であった。 4:「おおぬねできた」と全教器が図答した。 | Ш | | 1: | | | L | | = |
| | | ④年3回の授業観察、自己中告の面談において、自己評価カードをもとに管理無と協議し、指導法の改善に取り組んでいる。 | 3:180%以上100%来資か! おおむねできた」と図音し 2:00%以上00%来適か! のおせる できた」と図音し 1:「おおたねできた」と図客した着音が60%来達であった。 | | | 80% 未滿 | | | D | | |
| ための学びを支援します自分らしくいきいきと生きる個別目標5 | 国童・生徒一人の 関重・生徒・一人の はない はない を を はない はない はない はない はない はない はない に なる を を を を を を を を を を を を を を を を を を | | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し | | | 4:05日 | | | | | |
| | | ① インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。 | 3:80%以上100%未満か!おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し | FL IT | | | | | A | | |
| | | ②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじ めの未然防止、早期参良、早期対応等の ための機能が3対応を実施してもの的機能が3対応を変施してい | た。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。 | | <児童> 学校が楽しく、友 | | | | ı | | |
| | | | 4:「結構的な対応ができた」と全教員が回答した。 | П | | 3: 85% 以上 | | | r | | |
| | | | 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 | | く児童> 学校仲良と、友 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 | | | | в | | |
| | | | 1:「経緯的な対応ができた」と回答した教員が60% 未満であった。 | | 各教員は一人一 人のこどもにとっ て、安心できる | | | | | | |
| | | ③スクールかウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童 生徒・ 保護者が相談しやすい環境を登構し、一 人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ば すことを最初した指導や支援を行ってい | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 | 温かし学級で | 温かい雰囲気の 学級づくりに通り 組んでいる。 | 2: 80% U.L | | | Г | | |
| | J# 70 | | 3:80%以上100%未選が「おおむねできた」と回答した。 た。 2:60%以上80%未選が「おおむねできた」と回答し | | | | | | с | | |
| | | 6. | た。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。 | | | | | | | | |
| | | 「可配慮の必要な児童への指導体制の構築、校内で情報共有するために生活指導 タ会、特別支援委員会を定期的に実施し | の / つ。 4:「おおわれできた」と全数器が開発した。 3:000日 エロロの末端からおわないでた」と回答し 2:000日 エロルの末端からおむなできた」と回答し | П | | 1:80% | | | D | | |
| 安心な教育環境を 学のなり を 会 の の の の の の の の の の の の の の の の の の | | ている。 | 1:「おおむねできた」と回答した教員が405未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 | Н | | 4: 90% 以上 | H | | ╂ | H | |
| | 学校施設につい で、ICT環境等の 教育環境の整備 | ①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全 な学校生活でりを踏まえて、学習環境を 整備している。 | 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 | - | | SIL | | | A | | |
| | | | 2:60%以上部%未満が「おおむねできた」と図答した。 た。 1:「おおむねできた」と図答した教員が60%未満で | | | | | | | | |
| | | | 1: おおむねできた」と回告した飲食が80%未満で あった。 4: 「おおむねできた」と全飲養が開答した。 | Н | <児童> 学校のきまりを 守り、安全に生 | 3: 85% UL | | | ₽ | H | + |
| | | ②避難訓練や安全指導日などを通して、 危険や災害に対する教育を関係機関と連 携しながら進めている。 | 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | <児童> 学りを 学り、 学り、 学り、 学力を と学うを と学力を にしている。 くかのので神長 のののでは を にしている。 と学力を にしている。 と学力を にしている。 と学力を になる。 と学力を になる。 と学力を になる。 とのできる。 とのできる。 とのできる。 とのできる。 とのできる。 とのできる。 とのできる。 とのできる。 とのです。 とのです。 とのです。 とのでする。 とのでする。 とのでする。 とのでする。 とのでする。 とのです。 とのです。 とのです。 とのでする。 とので。 とのです。 とのでも。 と。 とのでも。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 | HE | | | P | | |
| つ習 く空 | を推進するととも に、児童・生徒の の全・中 | 見しながら進めている。 | 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 | ŀ | を効果的に授業 | | | | | | |
| つ習 く空 り間 まと | を推進するととも に、児童・生徒の 安全・安心を向 上させるための 教育を推進しま | 感じなから進めている。 | | | で活用している。 | 2: | | | _ | | - |
| つ習 く空 り間 まと | 学校・記録を で、101環境の企と後の を指揮する生をの に関連を に変さなを をに変さる生きののよ で変さす。 | | 1:「おおむねできた」と回答した教員が40%未満で あった。 4:「おおむねできた」と会教者が回答した。 3:6079以上1907の不適い「おおむなででに」と回答し | П | | 80% | | | | | |
| つ習 く 型 り 間 と す 安 | 数様になった。 を構造を生徒の を上、変していません。 をいました。 をいました。 をいました。 をいました。 をいました。 をいました。 をいました。 をいました。 をいました。 をいました。 をいました。 をいました。 をいました。 をいました。 をいました。 をいました。 をいました。 をいました。 といま。 といました。 といました。 といま。 といました。 といました。 といま。 といま。 といま。 といま。 といま。 といま。 といま。 といま | 30CT機器の活用を推進するため、定期的 に最格等を行い、各数員の指導技術の向 上に努める。 | | | | 1- | | | Ľ | | |
| つくります。習空間と安全・ | 数様になった。 は過ぎを止くない。 は過ぎをいる生徒内 をというなと、 をいると、 をいるので、 をいるである。 をいるでもでもできる。 をいるでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも | | 4:「おおわねできた」と全数器が開発した。 3:0078以上 10070不適かり みのじが こせたこと回答し 2:0078以上 2070不適かりおおむねてきた」と回答し | | | 1: 80% 未満 | | | D | | |
| つくります。 学校に 学校に 個別日 | が無違うとともの を推進しまったも他の とこのである。 というである。 は、 というである。 は、 というである。 というでもなる。 というでもな。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっ | 301機器の法用を発達するため、実際的に研修事を行い、を教員の推導技術の向上に努める。 | 4.5岁かわれて使から止め金数が回転した。 の知知は上の地の光温が一方の人が大学だった回野した 10分回は上の地の光温が一方の人が大学だった回野した。 ではいいは上の地の光温が一方の人ができたことを行 しているとしているというできた。 1.1岁かしなくをたっと他をした。 4.5岁かむねてきた」と金数真が回答した。 | | | 1: 80% 未満 4: 90% 以上 | | | F | | - |
| つくります 学校をごく 一番空間と安全・ 地域コミー 学校・家庭 | が発生のこととの の構造で変ないとと のでは、 の | 301機器の法用を発達するため、実際的に研修事を行い、を教員の推導技術の向上に努める。 | 4.1分割からできたよと発表が回答した。 3.00円はよっいかが出出いるおもらいでによい時間と 2.00円はよっいのが出出いるおもらいできたよと時間と 2.1分割がは、20円できたよと時間とした際負からいの未満で 1.1分割がおできたよと時間とした際負からいの未満で | | | 4: | | | F | | |
| つくります 学校をつくり 音空間と安全・ 地域コミュニ・ 個別目標7 | が発性過ぎるとともの では、別安とは時の に、別安とは時の となるもだ進し となるもだ進し を で を を で を が の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の | | 「おかたわかが会上」を発表が関係した。 の中の場と、ADVの場所が、PRE があっていることが研究している。 での時は、EDVの場所が、PRE があっているできたと開発している。 「おからねできた」と開発している質別の90年来直で は、PRE があるなどをたけ、EDW は、PRE がある。 4 「おおむねできた」と金数真が関係した。 3 からは、1900年来週が「おおむねできた」と開発した。 | | <保護者> 学均仕支充 | 4: | | | F | | - |
| つくります きなをつくJ ます きなをつくJ ます 一帯 な コミュニティの 学校・家庭・地域の個別目標 7 | | 301機器の法用を発達するため、実際的に研修事を行い、を教員の推導技術の向上に努める。 | ・「多点性」なから、少年を自身が開発しています。 「会がでは、ないがあったり、なった」となっています。 「できないないないないないないないないないないないないないないないないないないない | | <保護者> 地域とのかめ育活 | 4: | | | F | | |
| つくります 学校をつくります 学校をのはとし習空間と安全・学校・家庭・地域の連携・個別目標7 | | 30:11番店の選問性機能を介め、定期的に移動を手作し、企業の指導技術の内は1.7年の6。 17年の6。 17年間に、17年間によっての場合してのできた。 17年間に、17年間に対象と対象を表現している。 | | | | 4: 90% ULL | | | F | | _ |
| つくります 学校をつくリモすの核としての習空間と安全・ 学校・家庭・地域の連携・協場個別目標・ | | 301機器の法用を発達するため、実際的に研修事を行い、を教員の推導技術の向上に努める。 | ・「多点性」なから、少年を自身が開発しています。 「会がでは、ないがあったり、なった」となっています。 「できないないないないないないないないないないないないないないないないないないない | | 〈保護者を はのから数な を を を を を を を を を は が に な に が に な に が り で の の の の の の の の の の の の の の り の り の | 4: 90% ULL | | | F | | |
| つくります 学校をつくりますの核としての習空間と安全・ 学校・家庭・地域の連携・協働によ幅別目標7 | | 30:11番店の選問性機能を介め、定期的に移動を手作し、企業の指導技術の内は1.7年の6。 17年の6。 17年間に、17年間によっての場合してのできた。 17年間に、17年間に対象と対象を表現している。 | ・ 通知を担当を表現の関係といってのから のでは、対象の表現のでありませんできた。 であっていてきた」と思想していません。 であっていてきた」と思想していません。 のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | | | 4: 90% 以上 3: 85% 以上 | | | F | | |
| つくります 字校をつくります の おばつこうにくの 間空間と安全・ 字校・家庭・地域の連携・協働に個別目標フ | を発生を受けた。 ・ では、一般では、 ・ では、 ・ では、 | では最近は用き機能を介し、支援的には関する。 この情報を行い、各種質の問題が同の内 しています。 のでは、これでは、これでは、 のでは、これでは、これでは、 のでは、これでは、 は、これでは、これでは、 は、これでは、 は、これでは、 は、これでは、 は、これでは、 のでは | | | 〈保援はからのようなのでは、 を取ったが、 を取ったが、 を取ったが、 である。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 | 4: 90% ULE | | | F | | |
| つくります 学校をつくリネティの枝としての習空間と安全・ 学校・家庭・地域の連携・協働によ幅別目標7 | | 30:11番店の選問性機能を介め、定期的に移動を手作し、企業の指導技術の内は1.7年の6。 17年の6。 17年間に、17年間によっての場合してのできた。 17年間に、17年間に対象と対象を表現している。 | ・ 通知を担当を表現の関係といってのから のでは、対象の表現のでありませんできた。 であっていてきた」と思想していません。 であっていてきた」と思想していません。 のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | | 「実施」を表示しています。 またまた (単位) はいまた (単位) | 4: 90% 以上 3: 85% 以上 | | | D A | | |
| つくります 学校をつくリネティの枝としての習空間と安全・ 学校・家庭・地域の連携・協働によ幅別目標7 | | では最近は用き機能を介し、支援的には関する。 この情報を行い、各種質の問題が同の内 しています。 のでは、これでは、これでは、 のでは、これでは、これでは、 のでは、これでは、 は、これでは、これでは、 は、これでは、 は、これでは、 は、これでは、 は、これでは、 のでは | | | で発送している。 で発送している。 で発送している。 で発送している。 で発送している。 で発送している。 で発送している。 で発送している。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | 4: 90% 以上 3: 85% 以上 | | | D A | | |
| つくります 学校をつくリネティの枝としての習空間と安全・ 学校・家庭・地域の連携・協働によ幅別目標7 | | では最近は用き機能を介し、支援的には関する。 この情報を行い、各種質の問題が同の内 しています。 のでは、これでは、これでは、 のでは、これでは、これでは、 のでは、これでは、 は、これでは、これでは、 は、これでは、 は、これでは、 は、これでは、 は、これでは、 のでは | | | 「保護者を表現している。 「保護者を表現した。 「保護者を表現した。 「保護者を表現した。 「保護者を表現した。 「保護者」を表現した。 「保養者」 「保養者」 「保養者」 「保養者 「保養者」 「保養者 「保養者」 「保養者 「保養者 「保養者 「保養者 | 4: 90% ULL 3: 85% ULL 2: 80% ULL | | | A B | | |